

本号の主要記事

- 第65回全国公立高等学校事務職員協会定期総会議案
- 第65回全国大会表彰者
- 全国公立高等学校事務職員協会会則



大会特集号

平成24年7月26日発行
全国公立高等学校事務職員協会
<http://zenjikyoe2.jp>
事務局：群馬県立高崎商業高等学校
電話 027-361-7000
群馬県高崎市東貝沢町3-4



第65回全国研究大会にむけて

全国公立高等学校事務職員協会 会長 富岡恒夫

この研究大会は、昭和23年に京都府において第1回が開催されて以来、毎年、研究発表や会員相互の情報交換を行い、事務職員の資質の向上と学校事務の充実・発展に貢献してきました。このことは、いつの時代でも、未来を担う子供たちのために、よりよい教育環境を目指してきた会員の向上心と、熱意によるものが大きいと感じております。

学校事務職員の仕事は、受付・庶務・財産管理・人事・給与・福利・厚生・会計等の定例的な業務を正確に早く処理するとともに、学校経営への参画が求められています。そのためには事務職員一人一人の資質の向上が、きわめて重要であります。

私のモットーは、「やる気と情熱、リズムとハーモニー！」。是非、前向きな気持ちを忘れず、一日一日の生活リズムを大切に、家庭、職場、地域との触れ合いを大事にし、学校教育の目的達成のため尽力されることをお願いいたします。

結びに、この研究大会が、事務職員の資質の向上と学校事務の充実・発展に貢献すること願い、そして、学校改革のさわやかな風が、事務室から吹きはじめることを期待するとともに、会員の皆様のますますのご活躍と本

大会の更なる発展・充実を祈念し、ご挨拶いたします。

平成24年度

全国公立高等学校事務職員協会定期総会議案

第65回全国公立高等学校事務職員研究大会は、茨城県水戸市の「ホテルレイクビュー水戸」をメイン会場にして、7/26～7/28の日程で行われます。

大会初日に行われる平成24年度定期総会の議案を掲載（議案書抜粋）しました。

なお、初日の開会式に引き続き「全国公立高等学校事務職員功労者表彰に関する内規」による功労者の表彰が行われます。表彰者のお名前を14ページ以降に掲載しました。

議事

◇第1号議案	平成23年度事業報告について・・・・・・・・・・	P 3
◇第2号議案	平成23年度決算報告並びに監査報告について・・・・・・・・・・	P 6
◇第3号議案	次期開催地（案）について・・・・・・・・・・	P 7
◇第4号議案	役員改選（案）について・・・・・・・・・・	P 7
◇第5号議案	会則改正（案）について・・・・・・・・・・	P 7
◇第6号議案	平成24年度事業計画（案）について・・・・・・・・・・	P 8
◇第7号議案	平成24年度予算（案）について・・・・・・・・・・	P 10

△平成23年度	主な活動状況・・・・・・・・・・	P 11
---------	------------------	------

△平成24年度	主な活動状況・予定・・・・・・・・・・	P 12
---------	---------------------	------

◎第65回全国大会表彰者の方々・・・・・・・・・・	P 14
---------------------------	------

○資料 全国公立高等学校事務職員協会会則・・・・・・・・・・	P 17
--------------------------------	------



平成24年度定期総会 議案 第1号から第7号を提出する。

平成24年7月26日(木) 全国公立高等学校事務職員協会 会長 富岡 恒夫

第1号議案 平成23年度事業報告について

(提案理由) 全国公立高等学校事務職員協会 会則第9条4項により、本案を提出する。

平成23年は、東日本大震災等の大災害が発生し、今もなお様々な対応を求められています。被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、来年度入学生からの新学習指導要領実施（理科と数学は今年度入学生から先行実施）を控え、時代の変化に対応した教育改革の取組みが、いよいよ本格的に実施されます。

そのような中、学校事務職員の職務内容がますます多様化し、高度の職務遂行能力と迅速な対応が求められています。

全国協会では、これらの情勢を確実に捉えるとともに、総会及びホームページ等に寄せられた会員の皆様の声を活動に反映すべく、第64回京都大会で承認いただいた事業計画を着実に実行することに努めました。また、「教育の改革と発展をめざして」を統一テーマに、本会の目的である会員相互の緊密な連携と、学校経営事務管理の研究並びに会員の資質向上を図り、学校教育の進展に寄与するため、様々な活動を展開しました。

なお、全国協会の在り方について、会費の減額や全国大会における分科会数の削減など検討協議を行い、平成23年度の総会において承認いただきました。

以下、平成23年度の事業活動について報告いたします。

1 研究活動の推進

統一テーマ「教育の改革と発展をめざして」―学校経営事務の充実―を研究活動の基本に捉えて、ここ数年のめざましい教育改革の動向を踏まえ、4つの分科会テーマを設定して、学校事務の改善に向けた研究を推進してきました。

第1分科会「学校経営と教育環境整備」―経営システムの確立と事務職員の果たす役割―

第2分科会「学校運営の合理化と情報の活用」―情報処理の標準化と効率化を求めて―

第3分科会「職場における実践と提案」―私たちの職場と仕事を考える―

第4分科会「今日的課題への提言」―多様な視点からの学校づくりを考える―

＊統一テーマ・は第47回千葉大会（H6.7.26～7.29）で改正

分科会テーマは第61回愛媛大会（H20.7.23～7.25）で改正

2 研究大会の開催及び研究会の助成・協力

(1) 全国研究大会の開催

平成23年7月28日・29日の2日間、京都市において第64回全国研究大会を開催しました。全国から1,211名の会員が参加し、教育改革の意義と学校事務職員としての新たな役割と責任を再認識して、成功裡に終了しました。

第1日目は、午後から開会式に続き表彰式では永年勤続功労者247名、役員功労者14名の方々に感謝状と記念品を、優秀研究発表者4件の方々に表彰状と記念品を贈りました。

文部科学省講話では、「今後の教育改革の動向について」と題して国立教育研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官 兼文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 濱野清氏に、現在の教育改革の大きな流れや、最近の初等中等教育の動向について講演いただきました。

全体会では、「一期一会」と題して、茶華道裏千家 家元 千 宗室 氏による講演をいただきました。

家元の人柄があふれる落ち着いた雰囲気の中、ゆったりと穏やかな口調で、様々な体験談や例え話を交えながら講演され、言葉の大切さを学ぶことができました。今という瞬間を大切に、自分を見つめ直す機会となり、今後の人生の参考になる貴重な講演でした。

全体会の後、総会を開催し、代議員190名で平成22年度事業報告・決算報告・同監査報告及び平成23年度事業計画案・同予算案が審議され、承認されました。

第2日目は、4つの会場で分科会を開催し、午前中それぞれ3本ずつの研究発表が行われ、午後は、第1から第3分科会が基調講演・シンポジウム、第4分科会が基調講演・班別討議が活発に行われました。最後に、12件の研究発表者に感謝状を贈りました。(別紙3「第64回研究発表者一覧表」参照)

各分科会の基調講演・シンポジウムのテーマは、以下のとおりです。

第1分科会	京都会館
基 調 講 演	「これからの学校事務職員について」
シンポジウム	「総務システムの導入に伴う学校事務の今後について」
第2分科会	京都会館
基 調 講 演	「情報化社会に求められる危機管理対応」 ～情報漏洩を防ぐには～
シンポジウム	「学校における情報管理」
第3分科会	京都市勧業館 (みやこめっせ)
基 調 講 演	「職場生活を健康に過ごしてゆくには」
シンポジウム	「生きがいをもって働ける職場の実現のために」
第4分科会	京都市勧業館 (みやこめっせ)
事 例 発 表	「特別支援学校の今」 ～困っていること・解決できたこと～
班 別 討 議	「特別支援学校の現状と抱える課題」 ～現状の把握と変化に対応した事務処理の模索～

分科会の様子については、大会終了後速やかに全国協会ホームページに掲載し、大会に参加された方はもとより、参加できなかった会員の皆様にも伝えることができたのではないかと考えております。

最後に、閉会式が行われました。京都実行委員会のご尽力と京都府・京都市及び近畿各県の事務職員の皆様のご協力により大変有意義な実りある大会となりました。暑い夏の日々を今大会のために、精一杯の準備・運営にあたられた実行委員会の方々に深く感謝を申し上げます。

(2) 事務職員研修会の開催

平成23年12月2日(金) 東京都文京区 文京シビックセンターにおいて、事務職員研修会を開催いたしました。全国から60名の方が参加されました。国立教育政策研究所 初等中等教育研究部 総括研究官 藤原 文雄 氏から「学校事務職員に必要なスキル、心構えとは何か」について講演をいただき、その後、講演を踏まえた少人数グループによる熱心な討議、全体会での成果発表を行いました。

(3) 支部研究大会への助成・協力

各支部研究大会は、私たち会員が所属する各都道府県市協会の活動の源となるものです。本協会は、これらの支部研究大会の助成とともに役員を派遣してその研究内容の充実を図るための支援をしております。その活動状況は、以下のとおりです。

- | | | |
|---------|--------|----------------------------|
| ① 北海道支部 | (札幌市) | 平成23年 8月 9日(火) ～ 8月10日(水) |
| ② 関東支部 | (栃木市) | 平成23年 6月17日(金) |
| ③ 東海支部 | (四日市市) | 平成23年 6月22日(水) ～ 6月23日(木) |
| ④ 北信越支部 | (高岡市) | 平成23年10月20日(木) ～ 10月21日(金) |
| ⑤ 近畿支部 | (神戸市) | 平成23年 6月24日(金) |
| ⑥ 中国支部 | (松江市) | 平成23年10月20日(木) ～ 10月21日(金) |
| ⑦ 四国支部 | (高知市) | 平成23年 6月23日(木) ～ 6月24日(金) |
| ⑧ 九州支部 | (宮崎市) | 平成23年 6月 9日(木) ～ 6月10日(金) |

(4) 文部科学省・独立行政法人教員研修センター主催学校組織マネジメント指導者養成研修への協力

本協会は、昭和24年11月、文部省主催第1回学校事務職員研究協議会、昭和53年8月、第1回文部省主催「公立高等学校事務職員幹部研修会」から運営に協力してきたところです。

平成16年度から一般研修講座（ワークショップ）・幹部研修講座に代わり、学校組織運営の一翼を担う事務職員として必要な、特色ある教育活動の推進、学校事務体制のマネジメント等に関する専門的な知識等を習得させ、各地域の中核となる事務職員の育成を目的とした研修講座のみになりました。平成23年度からは、学校組織マネジメント指導者養成研修となりました。

平成23年11月14日（月）～18日（金）までの5日間、茨城県つくば市の独立行政法人教員研修センターにおいて、都道府県・各指定都市から134名の方々が受講されました。

研修内容は、「教育改革の動向と学校経営」、「新学習指導要領とこれからの学校経営」、「信頼される開かれた学校づくりのために」の課題協議が行われ、講義・演習では、「学校におけるリスクマネジメント」、「学校組織マネジメント」、「学校運営を支える事務長の役割」、「学校運営を支える事務長の役割」をテーマに行われました。本協会は、この研修会の指導・助言に協力いたしました。

3 調査・広報活動の充実

全国協会と都道府県市協会の情報を迅速に会員に伝達することを目的に、会報「協会ニュース」第187号、第188号、大会特集号及び増刊号を発行しました。全国大会・各支部研究大会を中心に報告、また第2回全国理事会報告、事務職員研修など全国の学校事務職員の大切な情報源となるよう企画しました。また、「学校事務」誌の協力を得て、研究大会・研修会・講演会等の詳細をタイムリーに掲載し、広報活動の充実につとめました。

「全国協会要覧」は協会の現状を紹介するために、「全国調査集計結果」と合わせて、12月に行われた第2回全国理事会開催時期以降に全校に配布しました。「全国調査集計結果」は学校事務職員の動向を把握し、協会活動の指針とするために、昭和51年度からアンケートを実施し、集計しています。調査項目は、学校数調査、行政職員数調査、人事交流・昇任退職・新規採用者数調査、諸手当調査、事務の集約処理等調査、協会名・ホームページアドレス等です。

インターネットによる広報活動の充実のため、全国協会ホームページを平成21年11月27日にリニューアルし、ホームページの充実をはかり、協会活動の最新情報を提供できるよう努力しているところで、会員からの積極的な情報提供をお願いいたします。

全国公立高等学校事務職員協会

ホームページ

<http://zenjikyoku2.jp/>

4 組織の拡充・強化及び関係団体との協力

(1) 組織の拡充・強化

児童・生徒の急減期に入り、学級減・学校の統廃合など厳しい状況が続いており、今後もこの状況は変わらないものと推測されます。平成23年度の加入校数は、3,835校です。

(2) 関係団体との協力

全国公立小中学校事務職員研究会、全国公立学校事務長会、全国高等学校長協会と緊密な連携をとり、情報交換を行い研究活動並びに処遇改善等共通な課題について協議を進めました。

第 2 号議案 平成 2 3 年度決算報告並びに監査報告について
(提案理由) 全国公立高等学校事務職員協会 会則第 9 条第 4 項により、本案を提出する。
平成 2 3 年度決算

一般会計
I 収入の部 (△：減額 単位：円)

科	目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	摘 要
1	会 費	11,187,000	11,118,000	△ 69,000	高校・高専3,061×3,000 特別支援学校774×2,500
2	助 成 金	500,000	500,000	0	日本教育公務員弘済会助成金
3	雑 収 入	1,115	502	△ 613	預金利息
4	繰 越 金	2,002,885	2,002,885	0	平成 2 2 年度より繰越
5	繰 入 金	0		0	
合	計	13,691,000	13,621,387	△ 69,613	

II 支出の部

科	目	予 算 額	決 算 額	残 額	摘 要
1	運 営 費	3,840,000	2,757,589	1,082,411	
	事 務 費	5,000	630	4,370	
	1 事 務 費	5,000	630	4,370	事務手数料
	需 用 費	440,000	384,432	55,568	
	2 消 耗 品 費	70,000	61,505	8,495	文房具、パソコン消耗品等
	3 印 刷 費	370,000	322,927	47,073	協会要覧印刷等
	旅 費	2,800,000	2,191,710	608,290	
	4 本 部 旅 費	2,800,000	2,191,710	608,290	常任理事会・全国大会
	会 議 費	570,000	180,817	389,183	
	5 総 会 費	280,000	0	280,000	
	6 理 事 会 費	220,000	123,817	96,183	全国理事会会場費
	7 常 任 理 事 会 費	70,000	57,000	13,000	理事会・役員会会場費
	渉 外 費	25,000	0	25,000	
	8 渉 外 費	25,000	0	25,000	
2	事 業 費	9,300,000	8,310,416	989,584	
	事 業 費	950,000	660,870	289,130	
	9 広 報 費	550,000	507,045	42,955	大会特集号 ホームページ維持 アンケート印刷
	10 通 信 連 絡 費	400,000	153,825	246,175	特集号発送・協会資料等発送他
	研 究 活 動 費	5,350,000	4,949,438	400,562	
	11 研 究 大 会 費	4,000,000	4,000,000	0	全国大会補助
	12 研 究 協 議 会 費	30,000	11,758	18,242	全国大会経費
	13 研 究 調 査 費	120,000	5,040	114,960	消耗品費
	14 連 絡 旅 費	1,200,000	932,640	267,360	支部大会理事派遣・全国大会開催県打合せ
	研 究 費	2,250,000	2,250,000	0	
	15 支 部 助 成 費	2,250,000	2,250,000	0	支部助成金250,000×9支部
	奨 励 費	750,000	450,108	299,892	
	16 研 究 助 成 費	400,000	195,300	204,700	全国大会研究発表者等助成金他 研究発表12件他 パネリスト 7件 その他
	17 表 彰 費	350,000	254,808	95,192	永年勤続・研究発表者表彰記念品、賞状筆耕料・送料他
3	周 年 行 事 積 立 金	0	0	0	
	18 周 年 事 業 積 立 金	0	0	0	
4	財 政 基 金 積 立 金	0	1,700,000	△ 1,700,000	
	19 財 政 基 金 積 立 金	0	1,700,000	△ 1,700,000	
5	予 備 費	551,000	5,351	545,649	
	20 予 備 費	551,000	5,351	545,649	東北義援金一部助成
合	計	13,691,000	12,773,356	917,644	

III 差引残額		
収 入 決 算 額	支 出 決 算 額	繰越額
13,621,387	12,773,356	848,031

特別会計（周年行事積立金） (単位：円)

科	目	前年度末積立金	今 度 末 積 立 金	預 金 利 息	積 立 合 計 額
周 年 行 事 積 立 金		501,931	0	301	502,232

特別会計（財政基金積立金） (単位：円)

科	目	前年度末積立金	今 年 度 積 立 金	預 金 利 息	積 立 合 計 額
財 政 基 金 積 立 金		6,517,540	1,700,000	904	8,218,444

上記のとおり報告します。
平成 2 4 年 7 月 2 6 日 会長 富岡 恒夫 印
(監査報告)
上記の決算について、証拠書類・預金通帳・現金出納簿を精査したところ、適正かつ正確であることを認めます。
平成 2 4 年 7 月 2 5 日

監事 山本 隆雄 印
監事 鴨志田 博文 印

第3号議案 次期開催地（案）について

（提案理由）全国公立高等学校事務職員協会 会則第9条第4項により、本案を提出する。

_____支 部

第4号議案 役員改選（案）について

（提案理由）全国公立高等学校事務職員協会 会則第9条第4項及び第15条第1項により、本案を提出する。

会 長_____

副会長（総務・会計担当）_____

副会長（研究・広報担当）_____

副会長（第66回開催県）_____

副会長（北海道支部長）_____

副会長（東北支部長）_____

副会長（関東支部長）_____

副会長（東海支部長）_____

副会長（北信越支部長）_____

副会長（近畿支部長）_____

副会長（中国支部長）_____

副会長（四国支部長）_____

副会長（九州支部長）_____

監 事（第65回開催県）_____

監 事（第66回開催県）_____

第5号議案 会則改正（案）について

（提案理由）全国公立高等学校事務職員協会 会則第9条第4項により、本案を提出する。

改正理由

全国公立高等学校事務職員協会の会則等の一部について、現状と整合性を待たせるために、文言等の修正を中心に、改正することを提案します。

改正箇所については、資料8全国公立高等学校事務職員協会会則等の改正(案)新旧対照表（現行・改正案）のとおりです。

第6号議案 平成24年度事業計画（案）について

（提案理由）全国公立高等学校事務職員協会会則第9条第4項により、本案を提出する。

学校教育を取り巻く環境は大きく変化しており、学校経営の一翼を担う立場として、私たち学校事務職員の役割はますます重要となっています。多様な教育活動の推進を踏まえ、学校経営に積極的に参画し、本会の目的である学校教育効果の進展に寄与するために、次の事業を進めてまいります。

1 研究活動の推進

（1）研究テーマの設定

社会の急激な変化と学校教育の多様化に対応できるように次のように基本テーマを定め、研究の推進に努めます。

統一テーマ「教育の改革と発展をめざして」～学校経営事務の充実～

分科会別テーマ

第1分科会「学校組織マネジメント」～学校経営への参画～

- ① 情報セキュリティ等に関すること
- ② 事務の共同化と学校経営等に関すること
- ③ 危機管理等に関すること
- ④ その他、長期的視野に基づく調査・研究に関すること

第2分科会「業務の改善と効率化」～実践と提案～

- ① 情報処理能力の向上に関すること
- ② 職場における創意工夫等に関すること
- ③ 教育環境整備と予算等に関すること
- ④ その他、実践的事務処理の調査・研究に関すること

第3分科会「今日的課題への提言」～多様な視点からの学校づくりを考える～

- ① 自由な主張と創造的な提言等に関すること
- ② 仕事と健康等に関すること
- ③ 問題発見・解決能力の育成等に関すること
- ④ 特別支援教育の課題等に関すること
- ⑤ その他、第1・第2分科会以外の調査・研究に関すること

2 研究大会の開催及び各研究会助成・協力

（1）全国研究大会の開催

平成24年7月26日・27日の2日間、水戸市において第65回全国研究大会を開催いたします。全国各地からの研究成果を発表していただき、シンポジウムでは、参加者とパネリストが一体となり意見交換をします。

分科会の運営は司会者を実行委員会、助言者を全国協会常任理事があたります。

研究発表者には助成金を交付して研究の推進充実・活性化を図り、事務職員の功労者とともに、優秀な論文を本協会表彰に関する内規により表彰します。

今年度は、分科会を次のように運営します。

- ① 発表時間は1件45分（質疑・助言を含む）とします。
 - ② 第3分科会（今日的課題への提言）の午後は、班別討議とします。
4班に分かれ、さらに少人数のグループに分かれての討議とし、参加者が一人でも多く発言ができるよう配慮します。
 - ③ 民間の考え方等を積極的に取り入れる観点から、講師・パネリスト等を選定しました。
- （2）事務職員研修会の開催
第2回全国理事会に併せて、事務職員を対象とした研修会を開催します。研修会の運営は全国協会常任理事が担当します。
- （3）支部研究大会の助成・協力
各支部開催の研究大会への助成を行い、その研究成果の充実と向上のために協力します。
- （4）文部科学省・独立行政法人教員研修センター主催学校組織マネジメント指導者養成研修への協力
本年度の研修講座は、「学校組織マネジメント指導者養成研修（高等学校事務職員）」として、幹部職員等を対象に、平成24年11月5日（月）から9日（金）までの5日間、茨城県つくば市の独立行政法人教員研修センターにおいて開催予定です。

3 調査・広報活動の充実

協会ニュースやホームページ等を活用して、広報活動の充実を図ります。

- （1）調査について
今年度も「全国調査」を行い、各都道府県市協会にとって参考になる関心度の高い項目を取り上げていきます。
 - ①組織・制度に関する諸調査
 - ②事務職員の人事・給与に関する諸調査
 - ③事務改善に関する諸調査
- （2）広報について
ホームページについては、内容の充実と情報の即時性を目指して、以下のような情報発信をしているところです。
今後、協会ニュース等はHP掲載とEメール配信をしまいいります。会員からの積極的な情報提供をお願いいたします。
 - ①全国大会における研究発表の事前紹介と結果報告
 - ②協会本部の活動状況の報告
 - ③支部大会の状況及び都道府県市協会の活動状況紹介
 - ④会員専用ページ・リンク集の貼り付け

4 組織の拡充・強化及び関係諸団体との協力

- （1）組織の拡充・強化
本協会加入校数は、各都道府県市の学校再編による統廃合に伴う学校絶対数の減少とともに、未加入校の発生などにより減少している状況です。今後、全校加入を目指し、各支部及び都道府県市協会を通じて有効な情報を提供するなど一層連携を密にして、未加入校の加入促進を図ります。
- （2）関係団体との協力
全国公立小中学校事務職員研究会、全国公立学校事務長会、全国高等学校長協会その他の関係団体と情報交換等の連携を深めます。
本協会としては、教育環境や教育条件の変革の時代への対応を考えながら、教育の改革と発展のために、新たな学校教育の条件整備に努力していきます。

第7号議案 平成24年度予算(案)について

(提案理由) 全国公立高等学校事務職員協会 会則第9条第4項により、本案を提出する。

平成24年度予算(案)

一般会計

I 収入の部

(△:減額 単位:円)

科	目	予 算 額	23 年 度 予 算	比 較 増 減	摘 要
1	会 費	10,903,000	11,187,000	△ 284,000	高校・専・中等2,971×3,000 特別支援・定796×2,500
2	助 成 金	500,000	500,000	0	日本教育公務員弘済会助成金
3	雑 収 入	469	1,115	△ 646	預金利息
4	繰 越 金	848,031	2,002,885	△ 1,154,854	平成23年度より繰越
5	繰 入 金	0	0	0	
合	計	12,251,500	13,691,000	△ 1,439,500	

II 支出の部

科	目	予 算 額	23 年 度 予 算	比 較 増 減	摘 要
1	運 営 費	3,615,000	3,840,000	△ 225,000	
	事 務 費	5,000	5,000	0	
	1 事 務 費	5,000	5,000	0	事務手数料
	需 用 費	600,000	440,000	160,000	
	2 消 耗 品 費	150,000	70,000	80,000	事務用消耗品等 研究調査費から移動
	3 印 刷 費	450,000	370,000	80,000	協会要覧 アンケート等
	旅 費	2,600,000	2,800,000	△ 200,000	
	4 本 部 旅 費	2,600,000	2,800,000	△ 200,000	常任理事会・全国大会
	会 議 費	400,000	570,000	△ 170,000	
	5 会 議 費	400,000	570,000	△ 170,000	総会費・理事会費・常任理事会費を統合 会場費及び消耗品費
	渉 外 費	10,000	25,000	△ 15,000	
	6 渉 外 費	10,000	25,000	△ 15,000	
2	事 業 費	8,520,000	9,300,000	△ 780,000	
	事 業 費	650,000	950,000	△ 300,000	
	7 広 報 費	400,000	550,000	△ 150,000	大会特集号、ホームページ維持費
	8 通 信 連 絡 費	250,000	400,000	△ 150,000	特集号発送・協会資料等発送他
	研 究 活 動 費	4,920,000	5,350,000	△ 430,000	研究調査費を消耗品費へ移動
	9 研 究 大 会 費	4,000,000	4,000,000	0	全国大会補助
	10 研 究 協 議 会 費	20,000	30,000	△ 10,000	全国大会経費
	11 研 究 調 査 費	0	120,000	△ 120,000	
	12 連 絡 旅 費	900,000	1,200,000	△ 300,000	東北支部大会理事派遣・全国大会開催県打合せ
	研 究 費	2,250,000	2,250,000	0	
	13 支 部 助 成 費	2,250,000	2,250,000	0	支部助成金250,000×9支部
	奨 励 費	700,000	750,000	△ 50,000	
	14 研 究 助 成 費	350,000	400,000	△ 50,000	全国大会研究発表者等助成金他 研究発表 パネリスト等助成
	15 表 彰 費	350,000	350,000	0	永年勤続・研究発表者表彰記念品、賞状筆耕料・送料他
3	周 年 行 事 積 立 金	0	0	0	
	16 周 年 行 事 積 立 金	0	0	0	
4	財 政 基 金 積 立 金	0	0	0	
	17 財 政 基 金 積 立 金	0	0	0	
5	予 備 費	116,500	551,000	△ 434,500	
	18 予 備 費	116,500	551,000	△ 434,500	
合	計	12,251,500	13,691,000	△ 1,439,500	

特別会計(周年行事積立金)

(単位:円)

科	目	前年度末積立金	今 度 末 積 立 金	預 金 利 息	積 立 合 計 額
周 年 行 事 積 立 金		502,232	0	500	502,732

特別会計(財政基金積立金)

(単位:円)

科	目	前年度末積立金	今 年 度 積 立 金	預 金 利 息	積 立 合 計 額
財 政 基 金 積 立 金		8,218,444	0	1,000	8,219,444

平成23年度 全国公立高等学校事務職員協会 主な活動状況

月	日(曜日)	会 議 等	場 所 等
4	26日(火)	研究部会	財団法人小山台会館(東京都品川区)
	26日(火)	第8回常任理事会	財団法人小山台会館(東京都品川区)
	26日(火)	第64回京都大会文部科学省講話・巻頭言依頼	文部科学省(東京都千代田区)
5	2日(月)	総務部 功労者表彰推薦締切・審査開始	東総工業高等学校(千葉県旭市)
	7日(土)	総務部 功労者推薦審査終了	東総工業高等学校(千葉県旭市)
	10日(火)	第109回「学校事務」誌編集会議	学事出版(東京都千代田区)
	13日(金)	総務部 功労者表彰内定確認	財団法人小山台会館(東京都品川区)
	20日(金)	研究部会	財団法人小山台会館(東京都品川区)
	20日(金)	第9回常任理事会	財団法人小山台会館(東京都品川区)
	20日(金)	第9回常任理事会	財団法人小山台会館(東京都品川区)
6	上旬	総務部 功労者表彰内定者名簿発送	東総工業高等学校(千葉県旭市)
	9日(木)～10日(金)	九州支部大会 役員派遣	メディキット県民文化センター(宮崎県宮崎市)
	17日(金)	財団法人日本公務員弘済会研究助成金贈呈	群馬県前橋ホテル
	17日(金)	関東支部大会 役員派遣	栃木市栃木文化会館(栃木県栃木市)
	17日(金)	事務長会関東支部大会 役員派遣	東京都北区王子「北とぴあ」
	17日(金)	研究部会	財団法人小山台会館(東京都品川区)
	17日(金)	第10回常任理事会	財団法人小山台会館(東京都品川区)
	22日(水)～23日(木)	東海支部大会 役員派遣	四日市市文化会館(三重県四日市市)
	23日(木)～24日(金)	四国支部大会 役員派遣	高知会館(高知県高知市)
	24日(金)	近畿支部大会 役員派遣	神戸市産業振興センター(兵庫県神戸市)
	下旬	総務部 功労者表彰出欠者集計	東総工業高等学校(千葉県旭市)
	15日(金)	研究部会	財団法人小山台会館(東京都品川区)
	15日(金)	第11回常任理事会	財団法人小山台会館(東京都品川区)
7	15日(金)	総務部 功労者表彰状発送	東総工業高等学校(千葉県旭市)
	27日(水)	協会ニュース「大会特集号」発行	協会発行(広報部)
	27日(水)	第12回常任理事会	ルビノ京都堀川(京都府京都市)
	27日(水)	第1回全国理事会	ルビノ京都堀川(京都府京都市)
	28日(木)～29日(金)	第64回全国大会(京都大会)	京都府会館(京都府京都市)
	3日(水)	協会ニュース「大会速報」発行 HP配信	協会発行(広報部)
	4日(木)～5日(金)	全国公立学校事務長会総会 役員派遣	東京都「国立初ベック記念青少年総合センター」
8	9日(木)	第110回「学校事務」誌編集会議	学事出版(東京都千代田区)
	9日(火)～10日(水)	北海道支部大会 役員派遣	ホテルライフォート札幌(北海道札幌市)
	25日(木)	全国大会(京都大会)の報告・御礼	文部科学省初等中等教育局初等中等教育課
	25日(木)	研究部会	財団法人小山台会館(東京都品川区)
	25日(木)	第13回常任理事会	財団法人小山台会館(東京都品川区)
	16日(金)	研究部会	財団法人小山台会館(東京都品川区)
	16日(金)	第1回常任理事会	財団法人小山台会館(東京都品川区)
9	14日(金)	第2回全国理事会文部科学省 講話依頼	文部科学省(東京都千代田区)
	14日(金)	研究部会	財団法人小山台会館(東京都品川区)
	14日(金)	第2回常任理事会	財団法人小山台会館(東京都品川区)
	20日(木)～21日(金)	中国支部大会 役員派遣	島根県民会館(島根県松江市)
	20日(木)～21日(金)	北信越支部大会 役員派遣	高岡市生涯学習センターホール(富山県高岡市)
10	4日(金)	研究部会	財団法人小山台会館(東京都品川区)
	4日(金)	第3回常任理事会	財団法人小山台会館(東京都品川区)
	8日(火)	第111回「学校事務」誌編集会議	学事出版(東京都千代田区)
	14日(月)～18日(金)	学校組織マネジメント指導者養成研修(高等学校事務職員)	教員研修センター(茨城県つくば市)
	18日(金)	関東支部研究協議会 役員派遣	ホテル暖露館(山梨県甲府市)
	30日(水)	協会ニュース「増刊号」・「第187号」合併号発行 HP配信	協会発行(広報部)
11	上旬	平成23年度全国協会要覧	協会発行(広報部・総務部)
	2日(金)	第4回常任理事会	文京シビックセンター(東京都文京区)
	2日(金)	第2回全国理事会・事務職員研修会	文京シビックセンター(東京都文京区)
	16日(金)	第5回常任理事会	ホテルレイクビュー水戸(茨城県水戸市)
	16日(金)	第1回茨城大会合同打合せ会	ホテルレイクビュー水戸(茨城県水戸市)
12	1日(日)	協会ニュース「第188号」発行 HP配信	協会発行(広報部)
	13日(金)	第65回茨城大会文部科学省 後援申請依頼	文部科学省(東京都千代田区)
	13日(金)	研究部会	財団法人小山台会館(東京都品川区)
	13日(金)	第6回常任理事会	財団法人小山台会館(東京都品川区)
	20日(金)	第112回「学校事務」誌編集会議	学事出版(東京都千代田区)
	20日(金)	第9回学事出版教育文化賞表彰式・新年会	東京ガーデンパレス(東京都文京区)
1	17日(金)	第2回茨城大会合同打合せ会	ホテルレイクビュー水戸(茨城県水戸市)
2	1日(木)	協会ニュース増刊号(3月号)発行 紙媒体・HP配信	協会発行(広報部)

平成24年度 全国公立高等学校事務職員協会 主な活動・予定

月	日(曜日)	会 議 等	場 所 等
4	27日(金)	研究部会	財団法人小山台会館(東京都品川区)
	27日(金)	第7回常任理事会	財団法人小山台会館(東京都品川区)
	27日(金)	第65回茨城大会文部科学省講話・巻頭言依頼	文部科学省(東京都千代田区)
5	2日(水)	総務部 功労者表彰推薦締切・審査開始	茨城県立真壁高等学校
	7日(月)	総務部 功労者推薦審査終了	茨城県立真壁高等学校
	8日(火)	第113回「学校事務」誌編集会議	学事出版(東京都千代田区)
	25日(金)	第8回常任理事会	財団法人小山台会館(東京都品川区)
	25日(金)	総務部 功労者表彰内定確認	財団法人小山台会館(東京都品川区)
6	上 旬	総務部 功労者表彰内定者名簿発送	茨城県立真壁高等学校
	8日(金)	関東支部大会	ポートプラザちば(千葉県千葉市)
	7日(木)～8日(金)	東北支部大会 役員派遣	仙台国際センター(宮城県仙台市)
	13日(水)～15日(金)	九州支部大会	福岡市民会館(福岡県福岡市)
	15日(金)	事務長会関東支部大会 役員派遣	慶山(山梨県石和市)
	20日(水)	財団法人日本公務員弘済会研究助成金贈呈	前橋さくらホテル(群馬県前橋市)
	21日(木)～22日(金)	四国支部大会	西条国際ホテル(愛媛県西条市)
	22日(金)	近畿支部大会	ホテルアバローム紀の国(和歌山県和歌山市)
	28日(木)～29日(金)	東海支部大会	ウィンク愛知(愛知県名古屋市中)
	29日(金)	研究部会	財団法人小山台会館(東京都品川区)
	29日(火)	第9回常任理事会	財団法人小山台会館(東京都品川区)
	下 旬	総務部 功労者表彰出欠者集計	茨城県立真壁高等学校
7	13日(金)	研究部会	財団法人小山台会館(東京都品川区)
	13日(金)	第10回常任理事会	財団法人小山台会館(東京都品川区)
	中 旬	総務部 功労者表彰状発送	茨城県立真壁高等学校
	25日(水)	協会ニュース「大会特集号」発行 紙媒体・HP配信	協会発行(広報部)
	25日(水)	第11回常任理事会	ホテルレイクビュー水戸(茨城県水戸市)
	25日(水)	第1回全国理事会	ホテルレイクビュー水戸(茨城県水戸市)
	26日(木)～27日(金)	第65回全国大会(茨城大会)	ホテルレイクビュー水戸(茨城県水戸市)ほか
8	2日(木)	協会ニュース「大会速報」発行 HP配信	協会発行(広報部)
	9日(木)～10日(金)	北海道支部大会	ホテルライフオート札幌(北海道札幌市)
	9日(木)～10日(金)	全国公立学校事務長会総会 役員派遣	千葉市民会館(千葉県千葉市)
	14日(火)	第114回「学校事務」誌編集会議	学事出版(東京都千代田区)
	17日(金)	研究部会	財団法人小山台会館(東京都品川区)
	17日(金)	第12回常任理事会	財団法人小山台会館(東京都品川区)
9	14日(金)	研究部会	財団法人小山台会館(東京都品川区)
	14日(金)	第1回常任理事会	財団法人小山台会館(東京都品川区)
	14日(金)	第2回全国理事会文部科学省 講話依頼	文部科学省(東京都千代田区)
10	上 旬	協会ニュース「増刊号」発行 HP配信	協会発行(広報部)
	12日(金)	研究部会	財団法人小山台会館(東京都品川区)
	12日(金)	第2回常任理事会	財団法人小山台会館(東京都品川区)
	25日(木)～26日(金)	中国支部大会	米子市コンベンションセンター(鳥取県米子市)
11		関東支部研究協議会	栃木県
	5日(月)～9日(金)	平成24年度学校組織マネジメント指導者養成研修(高等学校事務職員)	教員研修センター(茨城県つくば市)
	9日(金)	研究部会	財団法人小山台会館(東京都品川区)
	9日(金)	第3回常任理事会	財団法人小山台会館(東京都品川区)
		第115回「学校事務」誌編集会議	学事出版(東京都千代田区)
	21日(水)	平成24年度全国協会要覧	協会発行(広報部)
	21日(水)	第1回岐阜大会合同打合せ	国立オリンピック記念青少年総合センター
	22日(木)	第4回常任理事会・第2回全国理事会・事務職員研修会	国立オリンピック記念青少年総合センター
12	下 旬	協会ニュース「第189号」発行 HP配信	協会発行(広報部)
12	14日(金)	研究部会	財団法人小山台会館(東京都品川区)
	14日(金)	第5回常任理事会	財団法人小山台会館(東京都品川区)
1	1日(火)	協会ニュース「第190号」発行 HP配信	協会発行(広報部)
	11日(金)	第66回岐阜大会文部科学省 後援申請依頼	文部科学省(東京都千代田区)
	11日(金)	研究部会	財団法人小山台会館(東京都品川区)
	11日(金)	第6回常任理事会	財団法人小山台会館(東京都品川区)
		第10回学事出版教育文化賞表彰式・新年会	東京ガーデンパレス(東京都文京区)
2		第2回岐阜大会合同打合せ	(岐阜県)
		第116回「学校事務」誌編集会議	学事出版(東京都千代田区)
	15日(金)	研究部会	財団法人小山台会館(東京都品川区)
2	15日(金)	第7回常任理事会	財団法人小山台会館(東京都品川区)
3	中 旬	協会ニュース増刊号(3月号)発行 紙媒体・HP配信	協会発行(広報部)

全国公立高等学校事務職員研究大会分科会テーマ及び開催支部
全国研究大会分科会テーマ

	研究発表分科会別テーマ
第1分科会	「学校組織マネジメント」 ～学校経営への参画～ ①情報発信と情報セキュリティ等に関する事 ②事務の共同化と学校経営等に関する事 ③危機管理等に関する事 ④その他、長期的視野に基づく調査・研究に関する事
第2分科会	「業務の改善と効率化」 ～実践と提案～ ①情報処理能力の向上に関する事 ②職場における創意工夫等に関する事 ③教育環境整備と予算等に関する事 ④その他、実践的事務処理の調査・研究に関する事
第3分科会	「今日的課題への提言」 ～多様な視点からの学校づくりを考える～ ①自由な主張と創造的な提言等に関する事 ②仕事と健康等に関する事 ③問題発見・解決能力の育成等に関する事 ④特別支援教育の課題等に関する事 ⑤その他、第1・第2分科会以外の調査・研究に関する事

全国研究大会開催支部

年 度	回 数	開 催 支部名	年 度	回 数	開 催 支部名	年 度	回 数	開 催 支部名
24	65	関東	31	72	近畿	38	79	北信越
25	66	東海	32	73	関東	※ 平成24年度以降の助言は 常任理事で担当		
26	67	東北	33	74	東海			
27	68	九州	34	75	東北			
28	69	四国	35	76	九州			
29	70	北信越	36	77	北海道			
30	71	中国	37	78	四国			

第65回全国大会表彰者の方々

(「全国公立高等学校事務職員功労者表彰に関する内規」)

◇第3条第1項第1号該当(30年勤続)

北海道		岩手県		埼玉県		静岡県		富山県	
1	中 辻 清	30	富 手 明 美	58	鎌 田 弘 美	89	鈴 木 昌 弘	118	源 千 恵 子
2	中 濱 尊 文	31	小 林 祐 子	59	島 田 繁 雄	90	監 物 明	119	長谷川 伸司
3	小 林 義 範	宮城県		60	田 中 由 夫	91	塩 澤 記 子	120	大 賀 久 嗣
4	富 田 元 彦	32	千 葉 建 夫	61	廣 澤 郁 夫	92	関 真 弓	121	焼田 幸百美
5	金野 夫佐男	33	城 谷 剛	千葉県		93	佐 藤 正	石川県	
6	櫻 川 博 康	34	遠 藤 可 淑	62	田 中 文 昭	94	田 上 学	122	寺 本 博
7	荒 岡 亀 義	35	沼 倉 富美雄	63	阿 部 秀 樹	95	中 島 靖	123	井 田 清 志
8	鎌 田 幸 男	36	今 野 ひろみ	64	石 井 浩 実	96	大 津 慶 記	124	國 門 秀 恵
9	八 島 美智子	37	佐久間 正裕	65	浅 尾 のり子	97	馬 塚 文 子	125	天 方 博 信
青森県		38	伊 藤 一 洋	66	小 原 美千代	98	犬 塚 智 子	長野県	
10	木 村 春 美	39	星 浩 志	67	宇井野 哲男	99	中 村 邦 彦	126	大 井 久 子
11	船 橋 詠美子	40	久 光 久美子	68	川 端 康 子	愛知県		127	辰 野 憲 夫
12	斉 藤 昌 子	41	伏 見 裕 子	69	有 本 勝	100	入 村 訓 子	128	菅 澤 順 子
13	広 瀬 弘 美	42	及 川 勝 則	70	東海林 和之	101	筒 井 明 美	京都府	
14	野 呂 光 男	43	中 條 英 明	71	吉 田 裕 子	102	五 十 嵐 栄	129	大 塩 文 代
15	泉 山 優 子	茨城県		72	清 水 晶 子	103	長 崎 稔	130	山 村 俊 夫
16	古 坂 由 美	44	鈴 木 孝 行	73	谷 津 茂 樹	104	石 黒 隆 一	131	北野 由紀子
17	外 崎 和 子	45	佐 藤 健	74	小 原 道 代	105	立 井 浩	132	岡 本 徹
18	熊 谷 祐 二	46	園 部 美 紀	75	前 田 文 吾	106	中 島 理 花	133	永 田 勝 之
19	佐 藤 泉	47	遅 塚 朱 美	76	菅 澤 洋 子	107	鵜 飼 淑 子	134	増田 真由美
20	石 沢 周 二	48	月 井 敬 一	77	山 中 裕 喜	岐阜県		135	長 砂 佳 明
21	佐 藤 隆 志	49	植 田 幹 夫	78	保 科 洋 人	108	市 原 猛	136	小 山 健
秋田県		50	平 山 治 幸	79	福 島 智 恵 子	109	木 野 村 弘	137	吉 田 信 秀
22	菅 野 隆 男	51	宇佐美 福美	80	山 本 尚 美	110	奥 村 悟	京都市	
23	宮 塚 石 英	52	豊 原 洋 子	81	岡 田 真由美	111	中 谷 茂 蔵	138	山 岡 正 幸
24	佐々木 仁	53	井 坂 匡	82	亀 田 雅 之	112	名 知 道 子	139	小 泉 宏富巳
25	佐 藤 康	群馬県		83	藤 田 豊	113	丹羽 智保美	奈良県	
26	渡 辺 正 純	54	奈 良 紀	84	永 塚 孝 雄	富山県		140	田 仲 輝 夫
岩手県		55	田 島 浩 美	85	今 井 佳 子	114	杉 本 雅 行	141	坂ノ下 光男
27	西 田 勝 美	埼玉県		86	富 岡 直 政	115	竹 内 毅	142	植 田 菊 代
28	千 葉 雅 世	56	飛 田 清 美	87	中 後 栄 一	116	斎 藤 光 男	和歌山県	
29	河 内 啓 祐	57	長 島 眞 弓	88	根 本 恵 子	117	橋 本 正 俊	143	松 岡 伸 和

和歌山県		兵庫県		広島県		福岡県		熊本県	
144	中村 斗岐子	166	伊 藤 昌 明	190	朝 原 辰 夫	211	高 野 鈴 子	232	木 村 盛 慈
145	岡 地 寛 幸	167	稲 田 薫	191	橋 本 道 子	212	水 町 敏 彦	233	右 山 文 吉
146	東 田 和 也	168	寺 本 泰 宏	鳥取県		大分県		宮崎県	
147	雑 賀 一 穂	169	花 尾 睦 明	192	長谷川 恵美	213	吉 松 秀 紀	234	岩 崎 和 子
大阪市		170	藤 井 悦 郎	193	花田 登美夫	214	都 隆 治	235	安 楽 よ み
148	石橋 千佳子	171	津 守 芳 輝	194	白 石 照 雄	215	宮本 いつみ	236	木 村 周 一
149	小 山 清 美	172	尾 崎 啓 一	高知県		216	平井 由美子	237	吉 松 篤 志
150	小 山 浩 宏	173	谷 泰 輔	195	阪 本 章 広	佐賀県		238	田 島 義 郎
151	藤 岡 英 子	174	荒堀 規美子	196	中 越 克 博	217	直 塚 清 純	239	長 友 雅
152	松井 アヤ子	175	藤 岡 茂	197	井 上 栄 子	218	江頭 ますみ	240	川 崎 容 康
153	萬 関 雅 典	176	水 谷 弥 生	愛媛県		219	内 川 浩	鹿児島県	
154	村上 ひとみ	177	三 譯 正 樹	198	桂 崇	長崎県		241	田 尾 宏 造
155	吉 岡 勝 利	178	山内 小百合	199	青 木 治 憲	220	酒井 美和子	242	今 辻 万 里
156	米 田 博 志	179	高 橋 美 穂	200	村上 ゆかり	221	丸 野 肇	243	甲 斐 修
		180	三 村 讓 治	201	友 澤 功 一	222	松 尾 遵 二	沖縄県	
兵庫県		181	上西園 和子	202	鈴 木 強	223	山 口 裕	244	小 浜 百 治
157	佐藤 眞智子	182	坂本 てるみ	福岡県		224	亀 井 賢 次	245	比嘉 美佐子
158	二 川 耕 一	183	宮 本 弘 行	203	川 口 喜 義	225	金 子 仁	246	佐久本美恵子
159	山 根 義 雄	岡山県		204	三 浪 芳 照	226	木 村 孝 裕		
160	中本 由紀夫	184	田 中 秀 樹	205	坂 本 清 治	熊本県			
161	小 原 信 博	185	木 下 晴 揮	206	山 下 裕 二	227	鬼 塚 正 文		
162	森 川 良 平	186	浅 野 恵 子	207	力 久 幹 二	228	佐 藤 正 範		
163	織 田 正 博	187	大崎 美由紀	208	柳 本 憲 男	229	鈴 木 哲 夫		
164	坂 本 涉	188	三 垣 眞 弓	209	山 中 聖 一	230	松 本 敏 子		
165	岩 田 博 美	189	平 松 勇	210	野田 さとみ	231	赤 星 光 輝		

第3条第1項第2号該当（役員功労）

番号	都道府県名	氏 名
1	千葉県	志 賀 正 義
2	岐阜県	堀 要
3	石川県	寺 本 博
4	兵庫県	長 澤 喜 史
5	徳島県	内 山 眞 弓
6	長崎県	木 村 孝 裕

第 6 4 回全国研究大会優秀研究発表者の表彰について

「全国公立高等学校事務職員功労者表彰に関する内規」第2条及び第3条第3号並びに「功労者表彰に関する全国理事会の申し合わせ事項」第5項により、次の方々を最優秀に準ずる者として推挙し表彰する。

(順番は分科会順)		
No	研究発表テーマ	発表者
		学校名・職氏名
1	私費の適正な取扱いについて ～事務職員として、今後どう取り組むべきか～	宮崎県立延岡青朋高等学校 主事 森 祐貴 ほか
2	「学校コンシェルジュ」をめざして	埼玉県立毛呂山特別支援学校 主任 石田 光代
3	職務換職員研修のための分掌マニュアル ～組織を支える教材コンテンツモデル～	北海道函館商業高等学校 主任主事 山藤 武徳 ほか
4	省エネルギーと経費節減対策について	茨城県立古河第二高等学校 係長 橋本 雄一



全国公立高等学校事務職員協会会則

昭和31年8月2日 決議

昭和31年8月2日 施行

第1章 総 則

(名 称)

第1条 本会は、全国公立高等学校事務職員協会（以下「本会」という。）と称する。

(目 的)

第2条 本会は、会員相互の緊密な連携のもとに、学校経営と事務管理の研究並びに会員の資質向上を図り、もって学校教育効果の進展に寄与することを目的とする。

(事 業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- ① 学校経営と事務管理に関する研究
- ② 会員の教養と資質向上に関する事業
- ③ 研究大会の開催
- ④ その他本会の目的達成に必要な事業

(事務所)

第4条 本会の事務所は、会長在任校に置く。

第2章 組 織

(会 員)

第5条 本会の会員は、全国公立の高等学校、中等教育学校、高等専門学校、特別支援学校に勤務する事務職員並びに事務に従事するその他の職員をもって構成する。

(運 営)

第6条 本会の運営は、本会則によるほか別に定める規則による。

(支部及び都道府県市協会)

第7条 本会は別表のとおり地方に支部及び都道府県市に都道府県市協会を置き、それぞれに支部長、協会長を置く。

- 2 支部及び都道府県市協会は、支部規則又は都道府県市協会規則を定め、又は改廃した時、会長に報告するものとする。

第3章 機 関

(議決機関)

第8条 本会に次の機関を置く。

- ① 総 会
- ② 全国理事会

- 2 総会、全国理事会は定数の過半数により成立し、その議決は出席者の過半数による。可否同数のときは、議長の決するところによる。

(総 会)

第9条 総会は本会の最高議決機関で代議員をもって構成する。

- 2 代議員は、各都道府県市協会から選出された者をもって充て、代議員定数は、各都道府県市協会の加盟校数による。50校未満は2名、50校以上100校未満は4名、100校以上

200校未満は6名、200校以上は8名とする。

3 総会は、毎年1回開催する。ただし、全国理事会の要求があったとき、もしくは会長が必要と認めたときは臨時に開くことができる。

4 総会の議決事項は、次のとおりとする。

- ① 会則の改廃 ② 事業計画の審議及び事業報告の承認
- ③ 予算の審議及び決算の承認 ④ 役員の選任と承認 ⑤ その他重要事項

(全国理事会)

第 10 条 全国理事会は、総会に次ぐ議決機関で支部長、都道府県市協会長で構成する。

2 全国理事会は、毎年2回以上開催し、次の事項を審議する。

- ① 総会に付託する議案の審議 ② 本会則施行のため必要な諸規則の制定、改廃
- ③ 役員候補者の受理 ④ その他必要な事項

(執行機関)

第 11 条 本会に次の執行機関を置く。

- ① 常任理事会

(常任理事会)

第 12 条 常任理事会は、会長・副会長・会計及び常任理事をもって構成する。

2 常任理事会の運営に関しては、別に定める。

第 4 章 役員、顧問及び相談役

(役員)

第 13 条 本会に次の役員を置く。

会 長	副会長	12名以内	会 計	1名
常任理事	30名以内	監 事	2名	

(役員の任務)

第 14 条 役員の任務は次のとおりとする。

- ① 会長は、会務を総理し、機関を招集し、本会を代表する。
- ② 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときはこれを代わる。
- ③ 会計は、本会の会計を掌る。
- ④ 常任理事は、本会の会務を分掌処理する。
- ⑤ 監事は、本会の事業及び会計を監査する。

(役員選出)

第 15 条 本会の会長・副会長及び監事は、総会において選出する。

2 会計及び常任理事は会長が指名する。

3 第7条に定める支部長は総会の承認により本会の副会長を兼ねる。

(役員の任期)

第 16 条 本会の役員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。

(顧問及び相談役)

第 17 条 本会に顧問及び相談役を置くことができる。

2 顧問は、会長が全国理事会の承認を経て前会長を委嘱する。

3 相談役は、会長が会長経験者を委嘱する。

4 顧問及び相談役は、会長の諮問に応ずる。

第 5 章 研究大会

(研究大会)

第 18 条 研究大会は、毎年 1 回以上全国及び地方ごとに開くものとし、全国研究大会は、総会と同一時期に、同一会場で開くものとする。

2 研究大会の出席者は、参加費及び資料費を納入するものとする。

(研究発表)

第 19 条 本会の会員は、研究大会において発表し、その討議に加わるものとする。

第 6 章 会 計

(収入及び経費)

第 20 条 本会の経費は、会費・補助金・その他の収入をもって充てる。

2 会費は、高等学校、中等教育学校、高等専門学校は 1 校当たり年額 3, 0 0 0 円、定時制単独校、通信制単独校、定時制・通信制併置校、特別支援学校は 1 校当たり年額 2, 5 0 0 円とする。ただし、事業推進のため必要あるときは、全国理事会の議決により、臨時に会費を徴収することができる。

(会計年度)

第 21 条 本会の会計年度は、4 月 1 日に始まり翌年 3 月 3 1 日に終わる。

ただし、総会において予算案が承認されるまでの間は、例年執行される経常的な収支については、常任理事会で審議の上、会長の決定において処理できるものとする。

第 7 章 連合組織

(連合組織)

第 22 条 本会は、全国公立小・中学校事務職員研究会と連合して、全国公立学校事務職員連合協議会を構成する。

第 8 章 その他

(褒 賞)

第 23 条 本会は、別に定める方法により特に功労のあった者を褒賞することができる。

附 則 (抄)

(別 表)

支部名	都 道 府 県 市 協 会	協会数
北海道	北海道	1
東 北	青森、秋田、岩手、山形、宮城、福島	6
関 東	茨城、群馬、栃木、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、横浜市	9
東 海	静岡、愛知、岐阜、三重、名古屋市	5
北信越	新潟、富山、石川、福井、長野	5
近 畿	滋賀、京都府、奈良、和歌山、大阪府、兵庫、京都市、大阪市、神戸市	9
中 国	岡山、広島、山口、鳥取、島根、広島市	6
四 国	香川、徳島、高知、愛媛	4
九 州	福岡、大分、佐賀、長崎、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄	8
合 計		5 3

＜全国協会HP閲覧のお願い＞

全国協会は、情報を随時更新中。是非ご覧ください。

全国協会HPアドレス <http://zenjiky2.jp/>

検索名は、「全国公立」または「全国公立高等学校事務職員協会」で可能です。

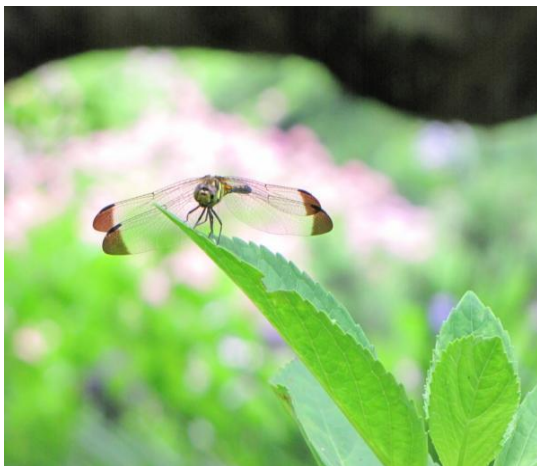
表紙写真／「ひまわり」（撮影：志賀正義氏）

夏の暑い盛りのなか全国研究大会（茨城大会）が開催されます。表紙を飾る「ひまわり」の写真は、これから研究会に参加される皆様方の熱い気持ちの化身かもしれません。

このひまわりの花にも、ギリシャ神話では、ちょっと情熱的で、もの悲しい次のような話があります。「海神の娘である海の精クリュティエは太陽神アポロンを一目見て恋をしました。しかし、アポロンは女神カイアラピに夢中でした。クリュティエは相手にされず、恋に破れ、嘆き悲しみ、九日間地面の上に立ち尽くしてアポロンを見つめていました。日の出から日の入りまでただひたすらにアポロン（太陽）を見つめつづけ、その間に口にしたのは、冷たい露と自分の涙だけでした。そしてクリュティエは、とうとうヒマワリの花になってしまった。」という話です。

やはり、ひまわりを見ると太陽をイメージする夏の躍動感のシンボルの大輪ですよ。今年の夏も暑さに負けず元気いっぱいで行きましょう。

千葉県立松戸馬橋高等学校 有本 勝



「協会ニュース」についてのお問い合わせ、ご連絡は次の広報部編集担当まで

●茨城県立総和高等学校／富田

TEL 0280 (92) 4551 FAX 0280 (92) 8362

E-mail tomita.hideaki@mail.ibk.ed.jp

●千葉県立松戸馬橋高等学校／有本

TEL 047-345-3002 FAX 047-346-5330

E-mail m.armt@pref.chiba.lg.jp

●群馬県立太田高等学校／澤田

TEL 0276-31-7181 FAX 0276-31-9161

E-mail sawad-kaz@pref.gunma.lg.jp

●群馬県立大泉高等学校／菊地

TEL 0276-62-3564 FAX 0276-62-7318

E-mail kiku-ta@pref.gunma.lg.jp

